

第5次



第4次計画から第5次計画(R6～R10)に改訂しました

鹿児島県子ども読書活動推進計画

不読率の低減

- 乳幼児期から読書に親しませる。
- 発達段階に応じた読書活動を行う。
- 全校で一斉に読書に取り組む時間を設定する。
- 学習活動で学校図書館を積極的に利活用する。
- 友人同士で本を薦め合う活動や電子書籍を利用した読書活動に取り組む。



子どもの視点に立った読書活動の推進

- 読書活動に関する児童生徒の意見を聞く機会を積極的に作る。
- 多様な子どもの意見を、サービスの改善や資料収集に反映させる。
- 児童生徒が主体的に関わるような学校図書館の運営やイベント等を行う。
- 中学生、高校生の要望を活かし、年代に応じた図書の実充を図る。



「1日20分読書」運動

～本がひらく わたしの未来～

毎日の読書活動が、子どもの未来をひらきます！

読書環境の整備により、すべての子どもたちに読書の機会を！



多様な子どもたちの読書機会の確保

- 多様な資料の整備・充実を図る。
 - 電子書籍
 - デイジー図書
 - 新聞
 - 外国語の図書
 - 多様な興味、関心に応える資料
- 幅広く、読書のきっかけをつくる取組の充実を図る。
- 多様な背景を持つ児童生徒の居場所として、読書や学習の場を提供する。



デジタル社会に対応した読書環境の整備

- 図書館のDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進する。
 - 図書情報のデータベース化
 - オンライン上での情報の共有化
- GIGAスクール構想の進展に対応した資料のデジタル化やコンテンツの整備・充実を図る。



詳しくは、こちらをご覧ください。



鹿児島県教育委員会

鹿児島県

読書バリアフリー計画

鹿児島県版が
できました!

令和6年度から
令和9年度まで
対象

本を読むのに、このような困りごとはありませんか?

文字でなく、音声で
楽しめたらいいな。

もっとやさしい言葉で
書かれていたらいいな。

文字が大きかったら
いいな。

外国語の本が
あるといいな。

点字の本は、
ないのかな。

案内表示が、もっとわかり
やすかったらいいのにな。

わかりやすい言葉で書かれている本は、「LL
ブック」と言います。他にも、さわる絵本や布
の絵本など、さわって楽しめる本もあります。

公立図書館には、文字
の大きな大活字本もあり
ます。

「音声デージー」、
「マルチメディア
デージー」など、音声で楽しめ
る書籍が、鹿児島県視聴覚障
害者情報センター、県立図書館、
奄美図書館などにあります。

公立図書館には、外国
語の本もあります。

点字の本は、主に鹿児島県視聴覚
障害者情報センターにあります。
公立図書館では、他の図書館から
取り寄せることができます。

誰が見ても分かるように、ピクト
グラム(絵文字や絵を使った図表
を用いて情報や案内等を示す記号)
等を活用した掲示に努めます。
他にも、スロープや筆談ボード等、
多様な障害にも対応できるよう努め
ます。

読書バリアフリー法とは?

(視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律)

障害の有無にかかわらず全ての国民が等し
く読書を通じて、文字・活字文化の恩恵を
受けることができる社会の実現に貢献するこ
とを目的としています。



鹿児島県

このリーフレット及び計画は、鹿児島県の
HPからダウンロードすることができます。
HPもぜひ、ご覧ください。

【お問合せ】

鹿児島県教育庁社会教育課生涯学習係
TEL 099-286-5336

Eメール e-shougai@pref.kagoshima.lg.jp

